

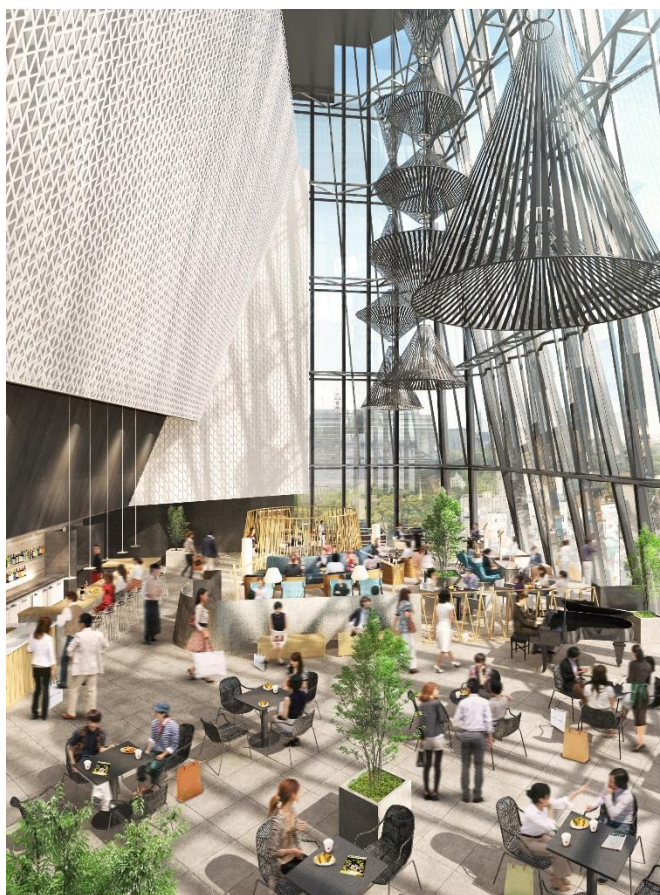
3月31日（木）オープン「東急プラザ銀座」

日本の美意識や職人の技を随所に生かした館内デザインで 銀座の新たなランドマークから“伝統と革新”を発信

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：植村 仁）は、銀座・数寄屋橋交差点に、銀座エリア最大級の商業施設「東急プラザ銀座」を、2016年3月31日（木）11:00にオープンいたします。（※オープン時間は早まる可能性がございます。）

「東急プラザ銀座」は、「Creative Japan ～世界は、ここから、おもしろくなる。～」という開発コンセプトのもと、フロア構成から空間演出、館内のアートワークなどを通じ、全館で“伝統と革新”を体感いただける商業施設となります。

この度、株式会社インフィクス（本社：大阪府大阪市、代表：間宮吉彦）が商環境デザインを手掛けた「東急プラザ銀座」の商環境デザインについてご紹介いたします。



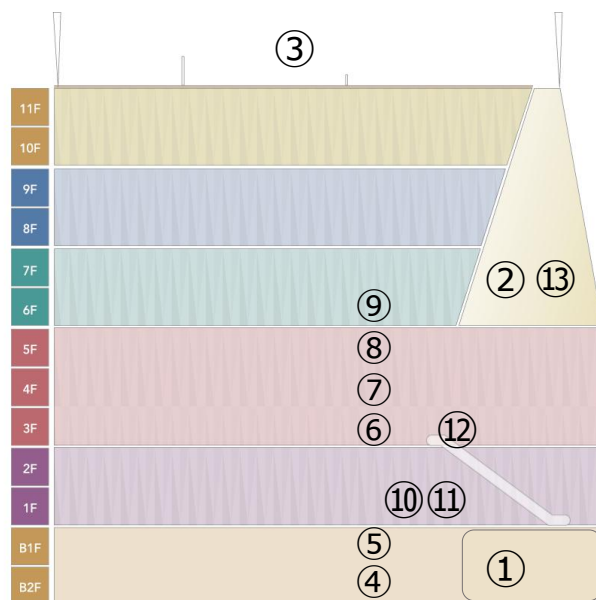
「東急プラザ銀座」は、全13フロア（店舗部分）に、ファッション、雑貨、レストラン、カフェなどの多彩な125店舗が揃い、パブリックスペースも兼ね備えた新しい構成の都市型商業施設です。建物外観は日本の伝統工芸である「江戸切子」をモチーフにした「光の器」をコンセプトにしています。そして館内の環境は、日本人の美意識や伝統の技を積極的に採用し、新しい文化の発信と、銀座の街に新たな憩いの場と賑わいを創出することを目指します。

【商環境デザインコンセプト】

全てを融合させ 新たな物を生み出す 日本人の感性

古くから多宗教が共存し、尊重し合う「和（共存・融合）の文化」をルーツに持つ日本人は、歴史も、世代も、環境も関係なく、全てを一つにまとめることができる、良い意味でのルールがない独自の感性を養い、それらをベースとした文化が現在では“クールジャパン”と総称され、広く世界に知られています。全てを融合させ、新たな物を生み出す日本人の感性をベースに環境を作り上げます。

館内デザインのポイント



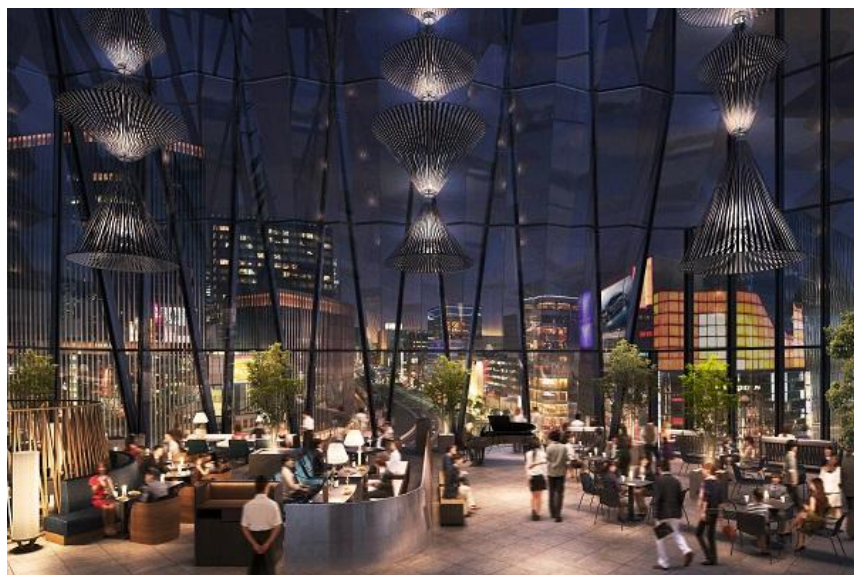
① 銀座駅のランドマークとなる、エントランス広場

銀座駅が建設された当時の伝統的な様式を取り入れた、品のある雰囲気と、張り出したテラスが地下1階への動線を明確にすると共に、賑わい感を演出します。テラス下にはキラキラと輝くクリスタルガラスを施し、ゲートを通るたびに特別感と施設への期待が膨らみます。銀座駅のランドマークとなる、待ち合わせにもご利用頂ける広場空間です。



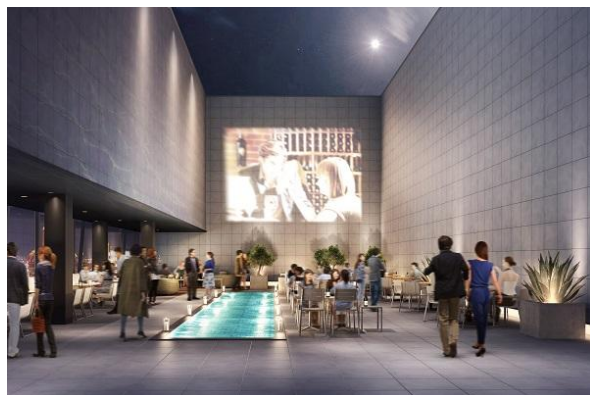
② コンセプトを表現・象徴するラウンジ

土壁や格子、黒く染色した杉を用いて、日本の風景を意識してデザインしました。レイアウトや家具のラインには、余白が作り出す日本の美意識を表現として取り入れています。ラウンジ内でシンボリックに輝くアートオブジェは、日本の祭りをテーマとした雅なデザインが、空間に華やかさと賑わいをつくります。動と静、全てを融合させて一つにまとめた、開発コンセプト「Creative Japan ～世界は、ここから、おもしろくなる。～」を象徴するラウンジです。



③ 上質な寛ぎの時間を演出するオープンテラス

屋上のオープンテラス「KIRIKO TERRACE」には、豊かな緑を配した「GREEN SIDE」と、広い水盤が特徴の「WATER SIDE」の2つのゾーンで構成されています。空や緑が感じられる自然との融合を意識し、『和』とも感じられるようなデザインをセレクト。ゆったりと寛げる、たくさんの人々が集うパブリック空間を演出しています。



④～⑨ 「日本の美意識」をテーマにしたアートウォール

「日本の美意識」をテーマに、東急プラザ銀座の外観デザインのモチーフである「切子」パターンを、“伝統と革新”を感じさせる様々な材と技で表現したアートウォールを、館内の6か所に設置しています。



④ B2F
「微」をテーマに、
鉄×ネジで切子を表現



⑤ B1F
「並」をテーマに、
竹×銀鏡塗装で切子を表現



⑥ 3F
「破」をテーマに
アルミ×押出で切子を表現



⑦ 4F
「間」をテーマに、
アクリル・木×組む
で切子を表現



⑧ 5F
「素」をテーマに、
ちりめん×織る
で切子を表現



⑨ 6F
「秘」をテーマに、
ストーン紙×折り
で切子を表現

⑩～⑬ 開発コンセプトを表現するアートワークの数々

館内の各所に、開発コンセプト「Creative Japan ～世界は、ここから、おもしろくなる。～」を象徴的に表現するためのアートワークや、伝統工芸士や左官、木工の職人とコラボレーションした照明や左官壁など、空間の雰囲気や気分を盛り上げるための仕掛けも作りました。



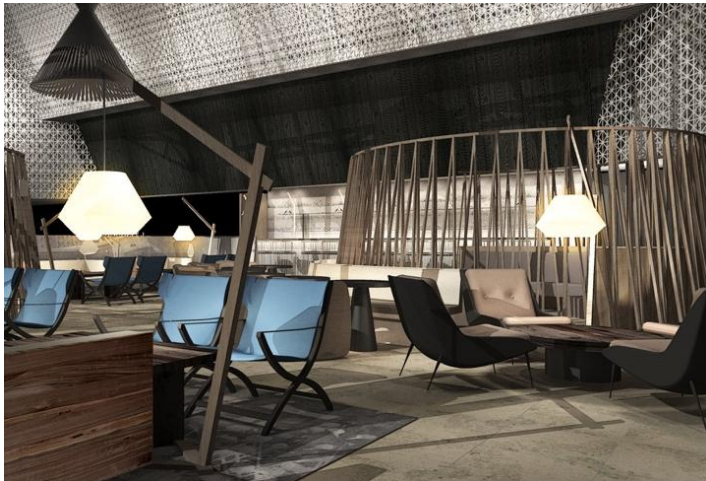
⑩ 1Fエントランス
久住有生氏が手掛けた左官壁
左官職人とのコラボレーションで、
雅なおもてなしを意識した空間に



⑪ 1F天井
澤田広俊氏が手掛けたアートワーク
墨絵をテーマに、ステンレスの黒メッシュを用いて
清らかな静けさでお客様をお出迎えする空間に



⑫ 直通エスカレーター 3Fエントランス
高度な加工技術と伝統的な箔を用いたアートワーク
切子パターンをデザインに取り入れた柱が、
銀箔の輝きとともに、賑わい感をフロア全体に広げる



⑬ 6Fラウンジ
木工職人の技が光る家具
木工職人とのコラボレーションによるオリジナルの家具が
高さ約27mの吹き抜け空間に、日本的な陰影をつくる